



ペンネーム	ヒサシ
<b>【エピソードのタイトル】</b>  ふるさとへ感謝込め	
<b>【エピソードの内容】</b>  宮城県の塩釜市という海辺のまちから、今回、下関海響マラソンに、はじめて参加させていただきます。  3月11日、わたしのまちも津波に襲われました。わたしの家は高台にあり、直接の被害は免れましたが、知人を何人かを失いました。水道も電気もガスも止まり、食料や暖房に不自由するなか、地域のみんなで声をかけあい、助け合いながらの日が過ぎてゆきました。  2週間くらいたってです。“ランニングの虫”がむずむずと動き出しました。こんなときに、と思いましたが…。庭の雪を溶かし、ペットボトルに入れ、飛び出しました。隣町の半島の海沿いを一周するのがいつものコースです。が、高台から見下ろした光景に、言葉もなかったです。住宅地が全部流され、屋根や船、車、流木が見渡す限り散在し、いつも走っていたコースは、ガレキに埋もれていました。  翌週だったと思います。電車が動かないため、ランニング通勤していました。全国から駆け付けてくれた災害救助の車両が行き交います。ふと、すれ違った工事車両のナンバーが目に入りました。「山口」とありました。わたしの郷里は、宇部です。3台連なり、過ぎていきました。わたしは、3台が見えなくなるまで立ち止まり見ていました。涙があふれてきて、抑えることができませんでした。「遠くふるさとの人たちも、きてくれている」。ただその気持ちだけでした。その夜、秋に下関でマラソンがあることを思い出しました。「お金をためて、参加しよう」と思いました。  わたしたちは、3月11日のことは、一生忘れないでしょう。つらいこともありましたが、うれしいこともたくさんありました。あの状況下、全国からの支援は、被災地の生きる力となりました。どんなに元気づけられたかしれません。支援は、いまでも続いています。山口からもたくさんの方々に来ていただき、多くの支援物資や義援金も届いています。  ふるさと山口と下関の人たちへ感謝を込めて、海響マラソンを走ります。	